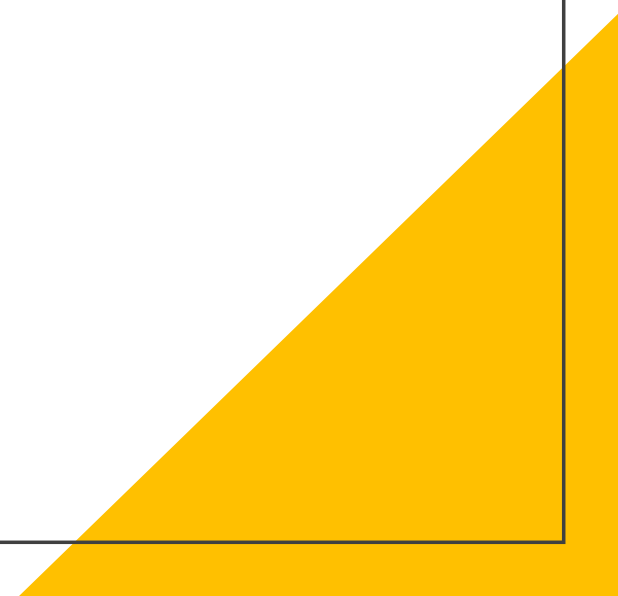


# 草刈り機による作業

～飛び石事故を防ぐための安全防止策～



# 目次

作業時の服装	P1
作業開始前に	P2
作業時－防護ネット－	P3
作業時－巻き込み－	P4
作業時－監督員の配備－	P5
作業時－法面作業－	P6
終業時	P7
ハチ、ヘビ対策	P8
事故が発生しやすい年齢、状況	P9
事故事例	P10
草刈り清掃を行う団体様へのお願い	

# 作業時の服装

事故防止のため、目の防護、体の防護に配慮した作業に適した服装での活動をお願いします。

- 帽子やヘルメット
- ゴーグル
- マスク
- 長袖の上着
- 長ズボン
- 軍手や皮手袋
- 安全靴やゴム長靴



# 作業開始前に

作業を始める前に、作業場の状況を確認します。

- 空き缶等
- 杭、柵
- 支柱（側溝や杭等のまわりは鎌で先に刈っておきます）
- 車
- 民家
- 作業者以外の人

※作業の邪魔になるもの、危険なものは撤去するか、目印をつけるなどしておきましょう。



## 作業時—防護ネット—

必ず防護ネット等を使用しましょう！

●防護ネット

※出来れば事前に車両等は安全なところに移動  
していただくが望ましいです



## 作業時—巻き込み—

遺物の巻き込みや固定物周辺の草刈り機での作業は大変危険です！

- シートなどの巻き込み
- 支柱、杭、柵周り

※移動できないものの周辺は草刈り機を使用せず手刈りしましょう。





## 作業時—監督員の配備—

作業中は集中すると注意散漫となりがちです。  
必ず、監督員を配置しましょう！

- 周囲に人がいないか
- 近くに民家や車両はないか
- 作業範囲、順序の事前打ち合わせ

※作業者はエンジン音などで声が聞こえにくく  
視野も狭くなっています。声をかける際は十分に  
注意してください。



## 作業時—法面作業—

傾斜面の作業は特に注意しましょう！

- 足場の確認
- 雨や露の後
- スパイクの付いた靴を使用

※特に雨上がりや夜露の後は草は滑りやすくなっていますので注意しましょう。危険度の高い所は業者に任せましょう。





## 終業時

草刈り機は熱くなっております。回転中の刃や火傷に注意しましょう！

- ストップスイッチでエンジンを確実に停止します。
- エンジン部分やマフラーは加熱しているので火傷に注意します。
- 燃料漏れや破損の有無を確認します。
- 刃は取り外しておきます。



## ハチ、へビ対策

ハチ、へビに十分注意！

- 夏、秋の作業はなるべく避ける
- 作業前にハチの巣の所在を確認
- 所在不明の場合は作業を避ける
- 明るい服装
- マムシは静かに離れる
- 長靴の使用



# 事故が発生しやすい年齢・状況

(国民生活センター調べ)

図4. 被害者の年齢(n=34)

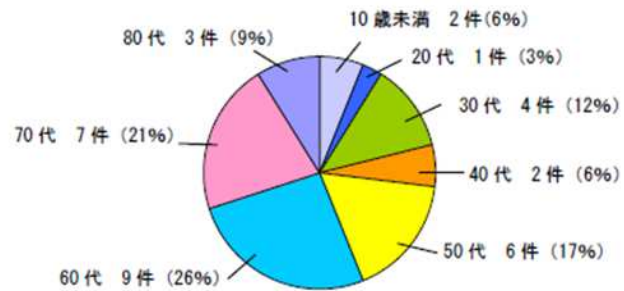
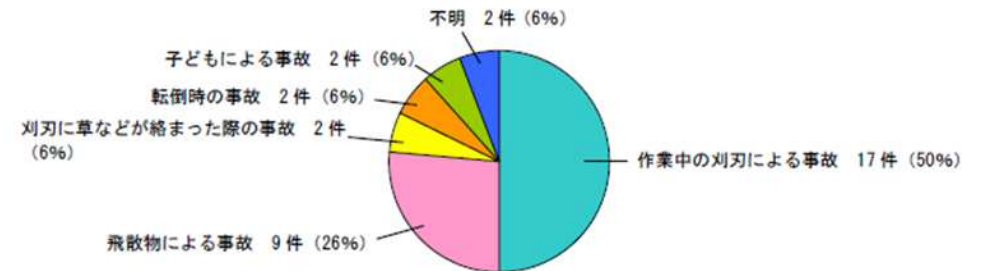


図5. 状況別の分類(n=34)



# 事故事例

・ 2020年07月17日

交流広場整備の為、草刈機を使用し清掃していた所、草刈機の刃が金具に当たり、破片が目に的中。右目摘出となり義眼装着となった。

・ 2020年12月06日

除草作業の為、ナイロンカッターを使用した草刈機を使用して作業中に草刈機で地面の小石を飛ばした状態で作業を継続した事により、隣家敷地内に駐車中の車に小石が連続して当たり、5台の車体を損傷させたもの

# 草刈り清掃 を行う団体 様へお願い

①事前状況確認（飛散物防止・危険生物確認）！！

②ヘルメット、長袖、長ズボン、ゴーグルの着用！！

③飛び石防護ネットの使用！！

④監督員の配備！！

⑤杭や支柱周辺の草刈り機使用禁止！！